

事業所名		児童発達支援事業所 とまとのプール				支援プログラム（参考様式）		作成日		R7	年	1	月	31	日
法人（事業所）理念		お子様の未来に向けて、ソーシャルスキルやコミュニケーションスキル、学習能力等楽しみながら学び、将来を見据えながら未来へ共に歩んでいきます！													
支援方針		◎子ども達の楽しく安心できる場所。遊びや集団活動を通して他者との関わり方や、日常生活に必要なスキルを身につけていきます。 ◎様々な活動を経験することで「集中力、生活力、学力等」を養い「やってみたい！やってみよう！」という気持ちを育み、子ども達の未来を広げていくための場所です。													
営業時間		平日	12 時	00 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし						
休園日		10 時	00 分から	16 時	00 分まで										
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	◎健康状態を把握します。衛生や感染予防に配慮します。 ◎基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や物の管理等ができるようにします。 ◎時間や空間がお子さんにわかりやすいように構造化等により生活環境を整えます。 ◎排泄支援では、プライバシーを保護し特性や発達状態に合わせたトイレへの誘導やオムツ交換を行います。													
	運動・感覚	◎一人一人の特性や発達の状態に合わせてあそびを通した運動を行い、子どもの興味・関心・楽しみ・やる気・持っている力を引き出す支援をします。 ◎さまざまな遊びや課題を通して、身体や手先の使い方のコツを伝えます。 ◎ダンスや音楽を通じて、物事に取り組むことの楽しさや、身体を動かすことの喜びを体感していきます。													
	認知・行動	◎空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげます。 ◎子どもが意欲的に関われるようなあそびを通して、成功体験を増やし自己肯定感を育みます。 ◎自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促します。 ◎自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行います。													
	言語コミュニケーション	◎様々な人との関わりや交流を通して人と関わる楽しさを感じ、自分の表現方法で意思表出ができるよう支援します。 ◎自分の気持ちや意思に気づけるよう働きかけ、自分に合った手段で意思の伝達ができるよう一人一人の発するサインを大切に方法を工夫します。 ◎場面に応じた人との関わり方について学んでいけるよう経験を増やし、周囲の環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。													
	人間関係社会性	◎活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて友達との協同・集団遊びへの取り組みややりとりを通して、適切な人間関係の形成を促します。 ◎他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 ◎自分の感情や気持ちなどに関心を持ち、情緒の安定を図ります。													
家族支援		◎子どもの発達を共有し、ご家族様の困りごとに対して相談援助を行い、また、安心して子育てができる・きょうだいと関わりのできる時間を作るなど、保護者にも寄り添えるようバックアップしていきます。					移行支援		◎各関係事業所等と連携し、ライフステージの切り替えを見据えた準備・相談・進学先への情報共有を行っていき、安心して進めるよう支援します。						
地域支援・地域連携		◎保育園・幼稚園・併用事業所・相談支援事業所・障がい福祉サービス事業所等との情報連携や、支援方法や環境調整の相談援助					職員の質の向上		◎社内・社外における各分野研修に参加。						
主な行事等		季節の行事（お花見、夏まつり、運動会、ハロウィン、クリスマス等）、外出イベント（工場見学等）、アールブリュット作品制作、防災訓練（年2回）													